

森の新聞

日本野鳥の会広島県支部



2013. 7・8

No. **187**

http://homepage3.nifty.com/wbsj_hiroshima/index.html



■写真「ミヤマビタキ」鹿児島県 井町久夫氏（会員）

7月

- 6(土) 連絡会 (18:30~)
- 14(日) 八幡川探鳥会 (広島市)

8月

- 3(土) 広島城探鳥会 (広島市)
- 〃 連絡会 (18:30~)
- 4(日) 八幡川ツバメのねぐら探鳥会
(広島市) 18:00~
- 24(土) 八幡川探鳥会 (広島市)

もう一度、もう一度、 観察マナーを振り返ってみましょう

■先日、東広島市にお住まいの方から、支部宛に下記のメールをいただきました。

2004年10月に我々に注意喚起を促されたその方からの再度のメールです。

■我々に対する直接の抗議の形はとっておられませんし、迷惑をおかけしているのが日本野鳥の会広島県支部の会員かどうかは不明です。しかしながら、再度支部宛にメールを出さざるを得なかったこの方のお気持ちを推察し、野鳥観察を趣味とする者として、支部全体でもう一度自分たちの観察行動の影響を省みていただけないかと思います。

■広島県支部としては、事実関係についての情報収集を行い、7月の連絡会で支部としての対応を協議する予定ですが、前回(2004年)の時の迷惑行為は8月末にも生じておりますので、まずは今号にメール全文を掲載させていただき、皆様への注意喚起とさせていただきます。

支部長 福本

日本野鳥の会広島県支部 御中

八本松町在住の■■と申します。以前、当地域における野鳥観察のマナーについてお願いをしたものです。私がお願いした内容が未だホームページで紹介されており、会の方々のご尽力に大変感謝しております。

近年は野鳥観察による迷惑行為は格段に少なくなりました。しかし、最近になって少し目立ってくるようになり、私たちも、また以前のような状況が繰り返されるのでは、と危機感を覚えています。10年近くたてば、新しく野鳥観察を始められる方も増え、マナーを知らず、鳥ばかりを追われているのかもしれない。

東広島の野鳥の会には、下記のメールを送らせていただきました。観察をされる方がどこからいらっしゃるのかわかりませんが、東広島の方でない可能性もありますので、ぜひ県全体の野鳥観察をされる方々に、今一度呼びかけをしていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

東広島の野鳥の会宛のメール

前略失礼いたします。八本松町在住の■■と申します。

数年前になりますが、野鳥の会の方々のマナーについてお話したことがあり、〇〇様はご存知だと思います。

あれから数年、一時期のような迷惑行為は格段に減り、〇〇様をはじめ、皆さんでマナーについて呼びかけをしていただいているのだと思い、私達も安心して生活しておりましたが、最近になって、また野鳥観察のための、**・長時間にわたる路上、私有地への駐車**
・あぜ道、田など私有地への侵入 **・望遠レンズを用いての観察、撮影** といった行為が目立つようになりました。

昨日は、**・夜の7時も回った頃に** **・我が家の敷地横の私どもの田の土手に椅子を持ち込み、**
・三脚で望遠レンズを据え、 **・100メートルもある田の両側から**（片側は年配の女性、片側は年配の男性）熱心に観察しておられました。

・しかも車は隣の家の私道に止めておられます。

あまりの非常識さにあきれましたが、「何をされているのですか」と声をかけると、「あそこに〇〇という鳥がいるんですよ。」とうれしそうに、レンズをのぞいてみなさいとでも言わんばかりの返答が返ってきました。

その方々にも申し上げましたが、もう鳥はうんざりです。正確に申し上げると、野鳥観察をされる方々にはうんざりです。

ここには、確かに自然が多くあり、珍しい鳥が飛んでくるのかもしれませんが、しかし、鳥もいますが、人も住んでいるのです。皆さんが「自然」と思われている場所は「自然」ではありません。そこは私有地であり、私たちの生活の場です。

私達も少しばかりではありますが、農業を営んでいます。平日は仕事に行き、少ない休みをフルに使って田畑の維持につとめています。畦や土手の管理がどれほど労力を要するものか、ご存知の方はいらっしやらないのでしょうか。

疲れて帰宅したところや、つかの間の休日に、見知らぬ人が望遠レンズをもって家の周りをウロウロされるのがどれほど不快で苦痛を伴うか、想像していただくことはできないのでしょうか。

■この方の訴えておられる内容は、東広島のこの地を訪れる観察者だけの問題ではありません。また、超望遠の大砲レンズも、手軽に持ち運んでいるスコープも、首からぶら下げている双眼鏡ですら、その使い方や間違えれば、その視界を覗きこんでいない他者、野鳥観察を趣味としない方々にとって、脅威の道具に感じられる可能性もあります。

■支部ホームページのトップページに「観察マナー」の項目があります。

2004年10月に同じ方からのメールを頂戴した際、故小島氏の筆によって支部が表明した「アピール文」が、今でも全文掲載されています。是非ご一読ください。

<http://enagainfo.seesaa.net/category/11294581-1.html>

中国四国の9支部が集まる、年に一度のブロック交流会。

2013年度は岡山県支部主催で開催されました。

広島県支部からは支部長以下8名が参加し、主催県以外では最多でした。

来年は山口県の阿知須(11月1~2日;アジススパホテル予定)です。

今年以上のご参加を。以下は交流会の概略です。

中国四国ブロック交流会に参加して

福本

日時 2013年5月18日(土・祝)~19日(日)
場所 国民宿舎あわくら荘(岡山県英田郡西粟倉村) & 若杉天然林
参加者 財団本部から佐藤、箱田、浦各氏の他、8支部48名、合計51名
(鳥根県支部は支部総会と重なり欠席)

18日(土)の日程

- ・丸山 岡山県支部長挨拶
- ・公益財団本部 佐藤理事長挨拶
- ・各支部から近況報告
- ・講演「錦海塩田跡地のチュウヒ繁殖について」
; 多田英行(岡山県支部)
浦 達也(本部自然保護室)
- ・財団本部職員と支部代表者による会議
- ・懇親会



ミソサザイが人目も気にせず、長々と囀ってくれた

19日(日) ・探鳥会(若杉天然林); コマドリ、コルリ、コサメビタキ、キビタキ、トラツグミ、オオルリ、クロジ、ミソサザイ、アカゲラなど観察、雨模様でしたが素晴らしい環境でした。

■交流会情報(得られた情報を順不同で列記)

- ・来年のブロック交流会は山口県支部担当で11月1~2日:アジススパホテルを予定。きらら浜(阿知須干拓地)での鳥見に、広島からも多数の参加を期待します。
- ・本部の公益財団化に伴う役員の変更で、ブロックから理事、評議員が出なくなったので、本部情報周知のためにもブロック交流会が重要となる。
- ・来年が日本野鳥の会の創立80周年になるので、イベントを検討中。功労者の表彰も(各支部からの候補の推薦)

- ・25年度連携団体全国総会は11月9日（土）～10日（日）クロスウエーブ幕張（千葉市）にて開催予定
- ・会員情報；13年4月1日現在37,977人とピーク時（2000年）の7割弱。
- ・法人会員（年会費10万円）を紹介した支部には毎年当該会費の3割を還元。
- ・新会員獲得を目指した探鳥会を本部と関東地方の数支部との協働で開催。他支部にも広げていきたい。
- ・探鳥会保険は本部が掛けているが、リーダーに対する賠償請求には対応していないことなどの理由から、支部独自にボランティア保険などにも加入してほしい。
 - 岡山県支部では県社会福祉協議会のリーダー保険をかけている。
 - リーダーに対する損害賠償請求に対応するほか、地震、津波による事故にも対応。

- ・ツバメ調査は今年度も実施予定
 - ：昨年は8,400件余りの報告あり、減少報告が目立つ結果に。
 - 背景には環境変化の他、住民の意識行動の変化も？
- ・東日本大震災、福島第一原発事故に関して野鳥の会として、「原発に依存しない社会を目指す」見解をまとめた。今年度も震災等影響調査を継続。
- ・Strixの原稿募集および購入依頼
 - ；ストリクスは支部の要望もあって再刊にこぎつけた。28号の在庫多数、購入をお願い。29号原稿も募集中。



これから若杉天然林探鳥会に出発

- ・島根県支部独自調査によると宍道湖、中海のオオバンは1995年には2羽だったが、今回は1,841羽と激増。逆にハジロカイツブリは507羽から160羽に。
- ・太陽光発電事業は環境アセス法の適用外である。（風力発電は去年から適用されている）

「探鳥会スタッフ通信」配信申し込みを

会創立80周年を記念し、活動の中心である探鳥会の意義、あり方を見直していこうと、普及室から発行されました。支部に印刷物も2部来ていますが、探鳥会リーダーおよびリーダー志望者はぜひ個別に電子メール配信を利用してください。

リーダーを目指さない人にも興味深い記事が多いのでぜひ…。例えば4月号には、知られざる毒蛇「ヤマカガシ」についての興味深い記事が出ています。

配信希望者は①支部名 ②名前 ③住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス 明記の上 tanchouaff@wbsj.org まで申し込んでください。



図書館だより

【寄贈本】

「ホシザキグリーン財団研究報告第16号 2013年3月」

ホシザキ野生生物研究所編集・発行・寄贈 A4判 337頁のうち、鳥類関係は以下の40頁です。
○島根県邑南町におけるブッポウウツの野外調査と巣箱内の昆虫遺骸調査- 林成多・野津登美子
邑南町(旧瑞穂町・石見町・羽須美村)は、広島県境に接し江の川水系です。住民が設置した
巣箱を利用して2008年から4～5シーズンにわたって繁殖したブッポウウツ。2つの巣箱について
堆積した昆虫遺骸から食べられた昆虫の同定や採餌方法・場所と精密な調査に写真など。

【購入本】

「日本の動物観～人と動物の関係史～」

石田オサム・濱野佐代子・花園誠・瀬戸口明久(著)

東京大学出版会発行 A5判 288頁 野鳥誌6月号参照
動物観の系譜—食べる・食べない、衣類、移動・使役、愛でる、みせる・飼育・訓練、
保護する(野生動物管理・科学する)、日本人における動物の位置—
家庭動物(歴史・家族としてのコンパニオニマル) 産業動物(歴史・すみわけ・その動物観)
野生動物(野生をめぐる動物観、「野鳥」をめぐる動物観-1934年のはじめての探鳥会・中西悟堂
展示動物(珍獣としての動物、ふれあいとお世話、動物と動物園) 動物観のこれから

学びやぶっく「都会の鳥 生き残りの戦略 鳥から見ると都会はどう映る？」

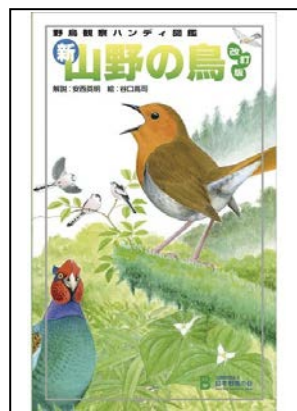
唐沢孝一著 明治書院発行 B6判 206頁

「繁華街で眠るハセキレイの不思議」「カラスは人の言葉を話せるのか」「セミを捕えるヒヨドリ
の技能とは」「都市鳥のエグな子育て作業」等、さまざまな問いかけが並んでいて、身近な自然に
目を向けるきっかけを与えてくれます。

「新・山野の鳥 水辺の鳥」の改訂版！

「わかりやすい！」「調べやすい！」 ポケットサイズの
野鳥図鑑が、新しい鳥類目録(第7版)に準拠した形で改
訂されました。表紙も一新され、解説には新しい知見を取
り入れ、外来種や野生復帰中のコウノトリ・トキのイラス
トも追加されています。

野鳥図書館に財団からの寄贈本があります。是非一度手
にとってご覧ください。



連載エッセイ

⑤夏の日の贈り物

中崎

～ヒナはかわいい！ 真夏も鳥見～

「夏は鳥見も一休み」なんていう人がいるけれど、
冗談言っちゃいけない。

我が鳥の師、N本氏はこう言った。

「8月は、

ヒナの（観察に好適な）時期なんよ。」

そう。真夏はヒナがいるから、実は**個体数が一番多い**
時期なのだ。これを見ない手はない。なんととっても、
情報カードでは**繁殖A**ランクだし。

（「**巣立ち雛を見た**」→A4）



確かにね。暑いし、葉が茂っていると鳥が見にくいし、
朝は早いし、セミはうるさいし、蚊には刺されるし、クモの巣が車に張り付くし（あ、書いててだんだんイヤになってきてしまった）、マイナス要因はいくらでもあるので、「普段たくさん仕事をして疲れているから（うそ）」などと自分に言い訳しながら家でごろごろしていたのも率直な真実の吐露ではあるのだが、えーととにかく、バードウォッチャーたるものそれではいかんのだ！（と、いきなり熱血型鳥見人になってみる）

「夏」「ヒナ」といったら忘れられないのがクロツグミの親子。ジージーというヒナの声を探りに探したら、谷間を歩くクロツグミのファミリーがいるのを見つけた。4羽がたて一列になって林床を歩いていく。先頭はお父さん。しんがりはお母さん。親の間には2羽の幼い子どもたち。親たちはヒナに餌をやりながら黙々と歩いていく。ヒナは餌をねだりながら親に挟まれて歩いていく。たったそれだけのことなのに、印象深くて忘れられない。8月のことだったと記憶している。

同様に記憶に焼きついているのがキビタキの父子。細い山道を歩いていたら、やぶの膝丈あたりがガサガサとゆれて、ひょっこり顔を出したのはキビタキのオスだった。おやこんなやぶの中を？ と思った次の瞬間、彼の後ろからポヤポヤのヒナが現れた。そう、キビタキのオスはダンディで教育熱心なパパだったのだ。歌ってケンカしているだけではなかったのね。

「火の鳥」アカショウビン、鳴き声を聞くのは5月上旬の渡来直後が多いはずなのだが、私はなぜか7月中～下旬に聞くことが多い。よって、アカショウビンを記録しようと思ったらこの時期ははずせない。

自分のフィールドでないのが残念だけれど、広島県初記録となったシベリアムクドリは、8月20日が初認だった。次はぜひマイ・フィールドで県初記録を出したいと、大それた野望をひそかに胸に抱いている。

ちょっとイントロでは腰が引けてしまったが、少し思い切ってフィールドへ行くと、いいことって必ずあるものだ。フィールドは裏切らない。そう信じて、今夏もまたフィールドへ通おう。

2013 春のシギ・チドリ渡り調査 結果速報！！

担当：日比野

一斉調査日：2013年4月28日前後の記録											調査日以外(最大羽数)					
調査地 NO.	1 小瀬川	2 御手洗川	3 可愛川	4 岡の下川	5 八幡川	7 広西大川	8 西本松・寺原	9 沼田近辺水田	沼田川河口	10 松永湾	合 計	2 御手洗川	5 八幡川	6 田放水路 太	8 西本松・寺原	9 沼田川
調査地																
市	大竹	廿日市	廿日市	広島	広島	呉	東広島	三原	三原	福山		廿日市	広島	広島	東広島	三原
種類 調査日	4/28	4/29	4/29	4/29	4/27. 28	4/29	4/28	5/3	5/3	4/29		5/6.11	5/6.11	5/6	2/23 ~5/1	4/13
タマシギ							9				9				9	
コチドリ	1		3		4	10	17			9	43	2			18	
カウチドリ															1	
シロチドリ			1		4	2				32	39	11				
メダイチドリ												2				
ムナグロ					2		1			1	4	3			1	
ダイセン					1					12	13	1				
ケリ							25	10		14	49				32	
トウネン					2						2					
ウスラシギ												1			2	
ハマシギ										273	273	32		26		
コアアシシギ															1	
アオアシシギ					2					2	4					
クサシギ							6			2	8				6	
効アシギ							1				1		3		3	
キアシシギ		1									1	170		36		
イソシギ		3				6		2	2	23	36	4	2		1	
ソリハシシギ										16	16					
キアシシギ					2	5				10	17					
オグロシギ					1						1					
オオソリハシシギ					3					1	4					
ホウロクシギ										1	1					
チュウシャクシギ	10				29	44			10	82	165	35	20			
タシギ							20			9	29				61	
ハリアシギ															1	
セイタカシギ					2						2				4	
計	11	4	4	0	52	67	79	12	12	487	717	241	45	62	139	3
種数	2	2	2	0	11	5	7	2	2	15	21	4	9	2	12	2
報告者	日比野		住田		探鳥会参加者	森山	木本		内海	渡辺			日比野		木本	内海

調査に参加いただいた方々ありがとうございました。

上記以外のデータを手元にお持ちの方は事務所または担当までお寄せください。

報告があった記録をそのまま記載しています。そのため全てが公式記録となるものではありません。

「標識付きのハマシギ」からの考察(野鳥情報より)

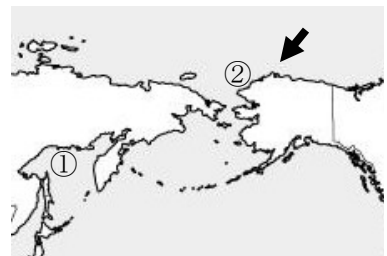
2013年4月13日～14日

松永湾で「キタアラスカハマシギ」 1羽

装着されたフラッグ等から、アラスカのバロー付近(地図中↑)で放鳥されたものと判明。当地で越冬したハマシギの個体数は約 180 羽ですが、この標識個体は確認されていませんでしたので、春の渡りの中継地として利用したハマシギの群中に混じていたものと思われます。

この個体は、4/13・14に細谷夫妻によって発見・撮影され、フラッグに刻印された記号から個体識別も可能な模様で、現在、山階鳥類研究所に問い合わせ中です。

渡辺



比較的馴染み深いシギチの1種「ハマシギ」(*Calidris alpina*)。春秋の渡りシーズンには割と多めの個体数で観察できるし、夏羽になってくれたら「お腹が黒い」ので容易に識別できるし、冬にも少しづらいは越冬してくれて地味ながらも観察させてもらえる機会があったりします。

そんなハマシギですが、上の情報を目にして少し勉強してみると、実は世界的には 10 もの亜種が存在します。日本では 2 亜種が確認されており、そのほとんどはサハリン北部で繁殖している亜種①のようです。(先般改訂された鳥類目録第七版掲載分は①亜種ハマシギ *calidris alpina sakhalina* ②亜種キタアラスカハマシギ *calidris alpina arctica*)

ただでさえ地味なハマシギのどこを見て亜種を識別すれば良いのか、私には全然わかりませんが、①と②の繁殖地の間には更に別の2亜種の繁殖地もあるようで、いつの日か国内で別の亜種も発見されることでしょう。今回の貴重な情報を機に、この際、皆様に深く考察していただけたらと思います。

光本

(影の声～アンタハコウサツ、センノンカア?)

回覧板です！①

★「大人も楽しい目からウロコの動物話」

中国新聞文化センター「クレドオープン講座」で開講！

上記表題で、福本支部長の講座が開講されます。
案内文によれば、「動物の意外と知られていない楽しく不思議な生態をひも解きます。オシドリ夫婦は一年で交代？等の鳥の話、動物公園の動物たちのとっておきの裏話、秘話などをお話しします。」とのこと。

定員 20 名；7～9 月第 4 土曜日 10:00～11:30 の 3 回コースです。興味のある方は参加してみませんか？



☞問合せ先： 中国新聞文化センタークレドビル教室
082-■2-4111（月～土 9:30～18:30）

★「名札」の配布、再開します。希望者にご連絡を。

以前、探鳥会や総会等で装着していただくように、会員全員に「飛んでるエナガ」イラスト入りの「名札」（中身だけ）が配布され、新規入会者にも「ウエルカムグッズ」として贈呈しておりました。

近年担当者不在で配布が滞っておりましたが、この度、新たな担当者を得て、「名札配布」を再開することになりました。新入会員のみならず、既存の会員の方にも希望される方には送付いたしますので、下記までご連絡下さい。

<名札見本>二つ折りです。オモテ（白）ウラ（緑）、両面でご使用ください。



☞連絡先：倉岡 メール ku■7@yahoo.co.jp 件名は「名札希望」
Fax

回覧板です! ②

★「カワウ調査」「サギ類調査にご協力ください。」

前号(186号)にてご案内しました広島県内の「カワウ生息調査」「サギ類生息調査」の調査用紙を同封しました。

平成25年夏シーズンの「カワウ」と「サギ類」の記録を募集します。今回の調査は、来年度以降に実施される予定の本格的な生息数調査前の「予備調査」に当たります。調査項目の全てが記入できなくても結構ですので、皆さんの観察ノートの片隅にあるカワウとサギ類の記録を、ぜひ支部宛にお寄せください。

締切 ～平成25年8月31日

提出先～光本 郵送の場合は、支部事務所宛てに

メール m_komoto@nifty.com

FAX

★「お話し会」企画、最後のチャレンジ!

既に「企画倒れじゃ!」と皆様の冷たい視線を受けおります、野鳥図書館での「お話し会」。夏の鳥枯れの時期をねらって最後のチャレンジです。事務所当番のメンバーも色々頭を絞ってくださいました。興味のある「お題」がありましたら、是非一度、野鳥図書館をご来訪ください。

(3月から6月16日までの実績～ 開催予告18回 参加者40名…サクラ、野次馬含む)

□開館時間 14:00～17:00

□お題

- | | | |
|----------|----------------------|------------------------|
| ■7/7 福本 | 「ご要望に応じて、動物話色々」 | 動物園元園長が、何でも色々お話しします。 |
| ■7/13 才峠 | 「633種の鳥 まず100種めざして」 | 自慢話や質問話をしましょう |
| ■7/20 倉岡 | 「何でも相談」 | 医療の話、介護の相談、人でも、トリでも? |
| ■7/21 光本 | 「物欲よもやま話③ 野鳥図鑑編」 | 今なら新旧、収集できます!! |
| ■7/27 光本 | 「Web鳥見の楽しみ方 入門?」 | 真夏はインドアで鳥見を楽しもう!! |
| ■7/28 大西 | 「偶然出会った巣材運びの鳥のお話」 | 皆さんの経験談、聞かせてください |
| ■8/3 才峠 | 「633種の鳥 まず100種めざして②」 | 自慢話や質問話をしましょう |
| ■8/4 高橋 | 「鳥ガールの鳥見紀行②」 | アクティブ鳥見の秘訣はここに。 |
| ■8/10 今橋 | 「手話のお話し②」 | 手話で鳥見? いつかそんな探鳥会も。 |
| ■8/17 福本 | 「ご要望に応じて、動物話色々②」 | 支部長さんの多彩な引出をノックしてみましよう |
| ■8/18 大西 | 「私の質問に答えてね!」 | 鳥に関する私の疑問。一緒に考えませんか? |
| ■8/25 光本 | 「初秋の野鳥の楽しみ方入門」 | これからの季節の楽しみ方を伝授。封筒詰めも。 |

探鳥会のご案内

- ◇探鳥会には、会員・非会員の別なく参加いただけます。
- ◇参加の事前申し込みは不要です。
案内に記載された「集合場所」にお集まりください。
- ◇雨天の場合は中止です。
- ◇参加費は 200 円です。
(中学生以下、無料)
- ◇小学生以下の参加は、必ず保護者同伴をお願いします。
- ◇自然観察では「やさしいきもち」を励行し、自然へのローインパクトを心がけましょう。



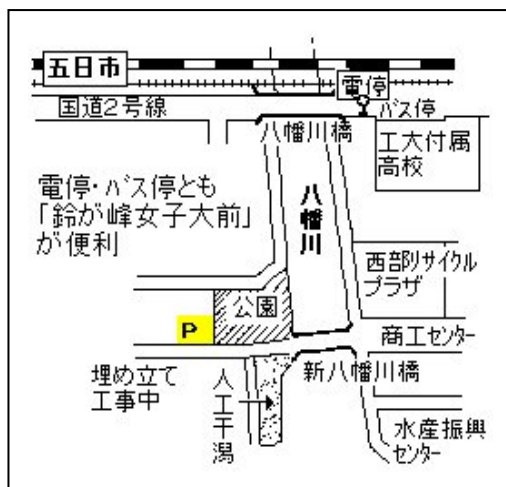
イラスト：まつもとみちお氏(会員)

**真夏も野鳥観察に絶好の季節。
熱中症に気をつけて、
フィールドに出かけてみませんか？**

● 雨でも楽しい「単調会」 No. 1876 八幡川探鳥会 7/14 (日)

定例開催の八幡川は、梅雨時も元気に開催します。雨天決行です。降雨と猛暑への備えを万全にご集合ください。(広島市佐伯区)

- ① 9:30 ②みずとりの浜公園東側ベンチ
- ③12:00 ④徒歩、約4km 雨天決行
- ⑤.....
- ⑥飲料必携。命にかかわります。暑さ対策はくれぐれも万全をお願いします。
- ⑦日比野



● 真夏の都市の野鳥観察

No. 1877 広島城探鳥会 8/3 (土)

交通至便の広島城で、少し早起きの探鳥会です。都市に生活する野鳥の生態を観察しましょう。
(広島市中区)

- ① 8:00 ② 護国神社前売店集合
- ③ 10:00、解散予定④ 城址公園を反時計回り
- ⑤ スズメ・シジュウカラ、ハシボソガラス等
- ⑦倉岡



写真：穂井田氏(会員)

● ツバメのねぐら入りを観察しよう！

No. 1878 八幡川探鳥会 8/4 (日)

いつもと違う時間の八幡川にも、鳥達のドラマが展開しています。八幡川河口埋立地でツバメのねぐら入りを観察しましょう。周辺が闇に包まれる、そのわずかなひと時に観察することのできる数千羽のツバメ達の舞う光景は圧巻です。夕涼みを兼ねて観察しましょう。
(広島市佐伯区)

- ① 18:00
- ② みずとりの浜公園東側ベンチ周辺
- ③ 19:30 解散予定
- ④ 徒歩、約2km
- ⑤ ツバメ
- ⑥ 公園隣接の駐車場は、夕刻「施錠」されるため使用できません。電車・バスでお越しください。
- ⑦日比野

● 秋の渡り パート1

No. 1879 八幡川探鳥会 8/24 (土)

周囲はまだまだ夏の雰囲気ですが、シギ・チドリ達の秋の渡りはすでに始まっています。河口の干潟や干拓地内の水辺に、繁殖地から戻る途中のシギ・チドリの姿を探しましょう。

- 観察地は日陰の無い場所です。
帽子・飲料を必ず携行してください。
- 開催内容は No. 1876 同様。
⑤は「シギ・チドリ類」です。
- ⑦日比野

①集合時間 ②集合場所 ③解散予定 ④内容 ⑤観察可能種 ⑥その他 ⑦担当者

探鳥会報告記

No1858 宮島探鳥会

5月25日土曜日、宮島探鳥会に参加しました。始発の連絡船で宮島に渡り、もみじ谷から大元公園をめざすコース。

担当は日比野政彦さん。参加者16名。

まず棧橋の建物の軒下にツバメの巣があり、付近の商店街近くでも地上で巣材の土を集めるツバメや尾の短い子ツバメを見ました。もみじ谷で日比野さんから観察コースとこの時期の観察ポイントの説明あり。(写真1)



(写真1)

夏鳥たちがやってくる5月中旬から6月の繁殖期の宮島は大元公園を中心に見逃せないスポットとのこと。もみじ歩道(自然散策路)付近でカワラヒワ、シジュウカラ、コゲラ、ヤマガラなどを見ながらの途中、ヒヨドリがスズメを襲っている場面に遭遇、なんとスズメを襲って羽毛を口にくわえて得意そうなヒヨドリの姿に啞然としました(写真2)。巣作りのために羽毛が必要だったのでしょか。



(写真2)



(写真3)

また大聖院近くでコサメビタキを発見し写真撮影に成功(写真3)。

コサメビタキは今回初めて見ました。図鑑を見るとオオルリやキビタキと同じヒタキ科で一番小さい鳥とのこと。初めて見る鳥にはいつも感激します。その後、大元公園に集まってしばらくウグイス、オオルリ、キビタキなどの声に聴きほれました。

そのうちサンコウチョウの声が聞こえてきて姿を追いましたが、すぐ近くで鳴いているにもかかわらず残念ながら姿を見ることはできませんでした。

最後にオオルリが木の高い枝にとまってさえずっているのを見つけ、皆でスコープで観察しながら聞き惚れました。私も口を開けてさえずっている姿を写真に収めることができましたが、逆光のためルリ色の体は黒っぽくしか写っていませんでした（写真4）。



（写真4）

山の鳥はこの時期木の枝や葉に隠れて身を護っているの、夏鳥は“声はすれども姿は見えず”でいつもくやしい思いをします。

最後に大元公園で鳥合わせをしましたが、26種を観察し大満足の探鳥会でした。

宮島はもちろん何度も行ったことがありますが、夏鳥がやってくるこの時期の大元公園がこれほどすばらしいとは初めて知りました。日比野さんによれば宮島は世界遺産なので開発されることがなくて今のままでの環境が保たれるとのこと。貴重な探鳥地として守っていききたいものです。このたびは日比野さん有難うございました。

（文・写真：倉岡）

「お話し会」報告記

- 6/16(日曜日)は福本支部長の事務所当番。今回も面白い話を聞けそうだと、森の新聞の編集をなげうって「お話し会」に参加してきました。
- 14:00に少し遅れて事務所につくと、OさんとIさんが既に来館。支部長を囲んで楽しくお話が進んでいます。遠慮もせずバズバズと話の輪に入れていただき、あっちこっちと話を振り回してあげたら、あまりの話題の振り方の散漫さに業を煮やした支部長が無言でプロジェクターの準備を始められ、シャッターが下ろされ、室内灯も切られ、ついに正しい「お話し会」が開始されることになりました。
- お題は「羽の話」。支部長のPCから非常に学術的な「鳥の進化」、「羽の構造」、「翼式」などの映像が提供され、それに合せて支部長の穏やかな語りで、非常にわかりやすく平易に鳥の羽根についての話題が繰り出されていきます。二日酔いで眠気に負けたIさんの「スヤスヤ、Zzzz・・・」って寝息をBGMに、Oさんと二人で支部長を質問攻めにしながら、お勉強させていただきました。
- 「恐竜にも羽が生えていた?」。。「水鳥と他の鳥の羽根の構造の違いは?」。。「フクロウと同じ羽根の構造を持つ他の鳥って、何?」。。「クジャクの広げる見事な飾り羽って、尾羽?それとも上尾筒?」。。「尾長鳥の尾は何故伸びる?」。etc 皆さんは興味ありませんか? 私のような与太郎の与太話と違って学術的裏付けのあるお話は非常に楽しく、また、プロフェッサーが何でも質問に答えてくださるのですから、こんな機会はそうそうありません。嫌な事や面倒な事が沢山ありすぎて、「広島県支部の会員でよかった・・・」なんてここ何年も感じたことがありませんでしたが、この日の午後はホントに「会員であることの幸せ」を実感できる時間を過ごしました。笑
- 気がいたら時計はすでに17:00。もっともっと話を続けて欲しかったのですが、運悪く支部長が「父の日のお食事会」を控えておられましたので、お礼もそこそこそそくさと解散に至ったのであります。
- 折角の「事務所/野鳥図書館」です。図書館であって「本の倉庫」じゃありません。支部の「がらくた置き場」でもありません。役員連絡会だけで使うなんてもったいない。ボランティアの当番さんを昼寝させておくれじゃつまらない。年間1,080,000円の家賃が「安い!」って思えるぐらい、活発に会員の出入りする事務所になってほしいというのが私の夢です。(多分、多分・・・に、独りよがりな私の夢なわけですが.....)
- 紙面が余ってしまったのでたくさんたくさん書きましたが、言いたいことはただ一つ。事務所は「怖い場所」ではありません。きっとあなたのバーディングライフを豊かに彩ってくれる、そんな素敵な出会いの潜む「バーダー専用サロン」です。是非一度、足をお運びください。

光本

野鳥情報

受付期間:	I, II	2013/4/15 ~ 2013/5/31
	III	2013/3/27 ~ 2013/6/15
報告者数:	7 名	種数: 20 種 件数: 19 件

※番外 0 件を除く。

【広島・呉】 I: 2 件 , II: 0 件 , III: 5 件

シマアジ	♂4♀3	4/7	吉岡	佐伯区	海上を隊列を組んで移動した後、川辺の干潟で休息
オグロシギ	1	5/1	木村	佐伯区	沢山のシギが見られたが、夏羽はオグロシギ1羽のみ
オオソリハシシギ	2	5/1	木村	佐伯区	チュウシャクシギと一緒に群れで橋の近く
ササゴイ	1	5/4	酒井	中区	初認。東から西へ飛ぶ
アオサギ	1	5/5	中山	安芸区	下くちばしが途中で折れていた。子供たちが近づいても飛び去ることもなかった。(※)

※支部への保護に関する問い合わせからの抜粋

【福山・尾三】 I: 0 件 , II: 0 件 , III: 5 件

ハマシギ	273	4/13	渡辺 細谷	福山市	キタアラスカハマシギ1羽(別記事参照)
ムナグロ	1	4/19	西村	三原市	農道脇の草むらを歩き回りながら採餌。
ツグミ	1	5/30	渡辺	尾道市 因島大浜町	単独、海岸近くのキャンプ場の草地で採餌。かなり遅い記録

【東広島・竹原】 I: 0 件 , II: 0 件 , III: 3 件

ホトトギス	♂1	5/16	黒木	東広島市	少し囀った後、すぐに飛去。今年は飛来が早いと感じた
-------	----	------	----	------	---------------------------

【芸北】 I: 0 件 , II: 0 件 , III: 3 件

クロジ	1	5/12	酒井	北広島町	さえざり
-----	---	------	----	------	------

【備北】 I: 0 件 , II: 0 件 , III: 1 件

セグロカッコウ	1	5/31	渡辺		標高約1000mのブナ林で、囀りや飛翔する姿を観察
---------	---	------	----	--	---------------------------

★★★ お詫びと訂正 ★★★

前号の情報カード I・II の受付期間が、「1/15-1/14」となっていました。
正しくは「1/15-4/14」です。お詫びして訂正します。

- ◆ここに掲載されたものは野鳥情報カードからの抜粋です。無断転載等は固くお断りいたします。
- ◆掲載されたもの全てが必ずしもそのまま公式記録になるわけではありません。ご了承ください。
- ◆野鳥情報カード I・II は事務所へ郵送、野鳥情報カード III は BCL06644@nifty.com ホームページへ添付してお送りください。
- ◆新市町村名が分からない場合は、旧名称で記載してください。

連絡会報告

5月連絡会

日時：平成25年5月11日（土曜日）

18：30～20：10

出席：福本 倉岡 高橋 今橋 大西 日比野

欠席連絡：中崎 光本 井町 正月谷

1. 八幡川河口鳥類協働調査
4月27日の探鳥会で行った。結果は県のホームページに掲載される。次回調査は9月16日探鳥会で行う。日比野
2. 行事予定
5月18-19日岡山県西粟倉村で中四国ブロック会が開かれる。支部から8名参加する。
3. 「ヒナを拾わないで対策マニュアル」
本部から送付あり、活用する。福本
4. 「自然の権利基金」チラシについて
名古屋に拠点をおく団体から支援者募集チラシを支部報へ同封可能か ⇒ 不可
5. 本部トリーノ配布部数変更
支部宛100部→今後20部
6. 密対連支部継続加入する
メジロの愛玩飼養のための捕獲が禁止されたが、密対連の活動は今後も継続する。支部も加入継続する。
7. 本部連絡
新版「山野の鳥」「水辺の鳥」販売される。
8. 事務所担当の件
帝京科学大学から4月に広島に戻った支部長が事務所の担当をする。
9. 探鳥会用 幟（のぼり） 福本
探鳥会時に幟を利用できると便利であるので見積を取る。（倉岡）
10. カワウ調査
森の新聞4,5月号で支部長から会員へ協力記事掲載。次号で具体的な依頼をする。
11. 会計関連 倉岡
仮渡し金方式での支出を図書館部の他に、森の新聞とコピー用紙費用も行う。
12. 新入会員関連
ネームプレート、入会証等を新入会員に送る準備中。倉岡

本部の入会パンフレットに支部入会費用がわかるように追記し利用する。福本

13. 藤井猛さん講演の件
広島県職員であり会員の藤井さんから専門的な知見を、得るため講演等を計画する。

6月連絡会

日時：平成25年6月1日（土曜日）

18：50～20：00

出席：倉岡、光本、中崎、藤井、日比野

欠席連絡：福本、高橋、今橋、井町、大西

1. 7,8月行事について
定例八幡川探鳥会、ツバメ探鳥会、広島城探鳥会の4回確定。光本
2. 森の新聞187号について（光本）
 - ・中四国ブロック会参加記事 支部長
 - ・シギ・チ調査結果短報 日比野
 - ・カワウ・サギ調査報告を求める記事
8月末時点の繁殖時期の観察記録と生息記録（冬季ねぐら、過去のコロニー）、広島県の様式に観察期日を追加したフォーム
 - ・連載エッセイ 中崎
 - ・回覧板（入会時配布する名札を既会員の再作成希望者へも対応する）
原稿締切6月16日（日）、出稿21日（金）、30日（日）14時事務所にて袋詰め発送作業
3. 広島県鳥獣保護情報に向けて
県庁自然環境課に勤務中の藤井会員の協力を得て①連絡会でのレクチャー②森の新聞への原稿提供③会員への情報提供④総会講師等を予定する。今後実現に向け進行する。
4. 中四国ブロック会報告
主な事項は探鳥会保険の充実他 日比野
5. 新入会員配布グッズ
ネームプレート（ネームプレート入れ含む）、入会証を今会入会者から配布開始する。既会員で新しいネームプレートの希望者があれば作成も可能。倉岡

藤原さん 田代さん

- ★新聞が届かない場合は、早めにご連絡下さい。
- ★住所変更は支部・本部両方にご連絡下さい。(支部ですませたい方は「本部へ連絡を」と注記を)
- ★継続会費納入が4か月滞ると、会報の発送が止まります。

GATHERING CALL ～ 編集後記

- 比婆山探鳥会で聞いたホトギスはじめ托卵鳥 5 種の登場、小鳥たちが心配です。(石川)
- 身近な探鳥地=宮島を再認識した 5 月末の探鳥会でした。いつ聴いてもキビタキ、オオルリ、サンコウチョウの美声には感激します(倉岡)
- にぎやかな季節のはずなのに情報が少なめなのは、皆さんいっばいの鳥見で満足・お疲れなのでしょうね。新人が当直に入る秋が待ち遠しい…(酒井)
- 糞に懲りて臆を吹くのも愚の骨頂。でも懲りない人も後を絶たず。自信を持ってフィールドで遊ぶためにも、しっかりとした観察マナーを身につけたいものです。探鳥会でお会いしましょう。(光本)
- 今年は見島へ行けませんでした(涙)。(中崎)
- 熱い夏、羽毛を持った鳥にとっても私たちにとっても、天然クーラーの高原に移動できればイナ。(日比野)
- 電話による質問でセグロカクコウの録音を初めて聞きました。カカカカコウと鳴くことは本や故小島規嗣さんからの知識で知っていましたが、どうしてもそのようには聞こえず、「わかりません」と答えてしまいました。後でネットでも聞きましたが、やはり私にはそう聞こえません。ただ、一度聞いたら忘れられない声であることは間違いのないですね。本物を聞けることを期待!!! (福本)

▽▽ 事務所と野鳥図書館 ▽▽
 開館時間 土曜・日曜
 14時～17時

*支部へのお問い合わせはメール・電話で。

電話は開館時間のみ対応できます。閉館時は
留守番電話をご利用ください。(FAX、可)

*メールは、BCL06644@nifty.com

もしくは、m_komoto@nifty.com まで

*次回「森の新聞」の作業予定は

8月11日(日)原稿締切 25日(日)発送作業
 担当:光本 090-4694-8632

事務所当番

(7月)

6(土) 図書館部	7(日) 福本
13(土) 才峠	14(日) 日比野
20(土) 倉岡	21(日) 光本
27(土) 光本	28(日) 大西

(8月)

3(土) 才峠	4(日) 高橋
10(土) 今橋	11(日) 光本
17(土) 福本	18(日) 大西
24(土) 日比野	25(日) 光本
31(土) 図書館部	

日本野鳥の会広島県支部 & 野鳥図書館

〒733-0011 広島市西区横川町3丁目9-3 小田ビル 1F

TEL/FAX 082-233-7304

http://homepage3.nifty.com/wbsj_hiroshima/index.html



森の新聞 PDF 版利用者限

No.1

野鳥情報 ギャラリー

情報カードとともに寄せられた写真の一部を掲載していきます。
識別・証拠写真として撮影、メール添付されたものが多いため、
多少画像に乱れがあることはあらかじめご了承ください。

※全長 (L) データは、野鳥観察ハンディ図鑑参照

シマアジ

20130407 新八幡川橋付近



シマアジ L38 vs ヒドリガモ L49



オオソリハシシギ

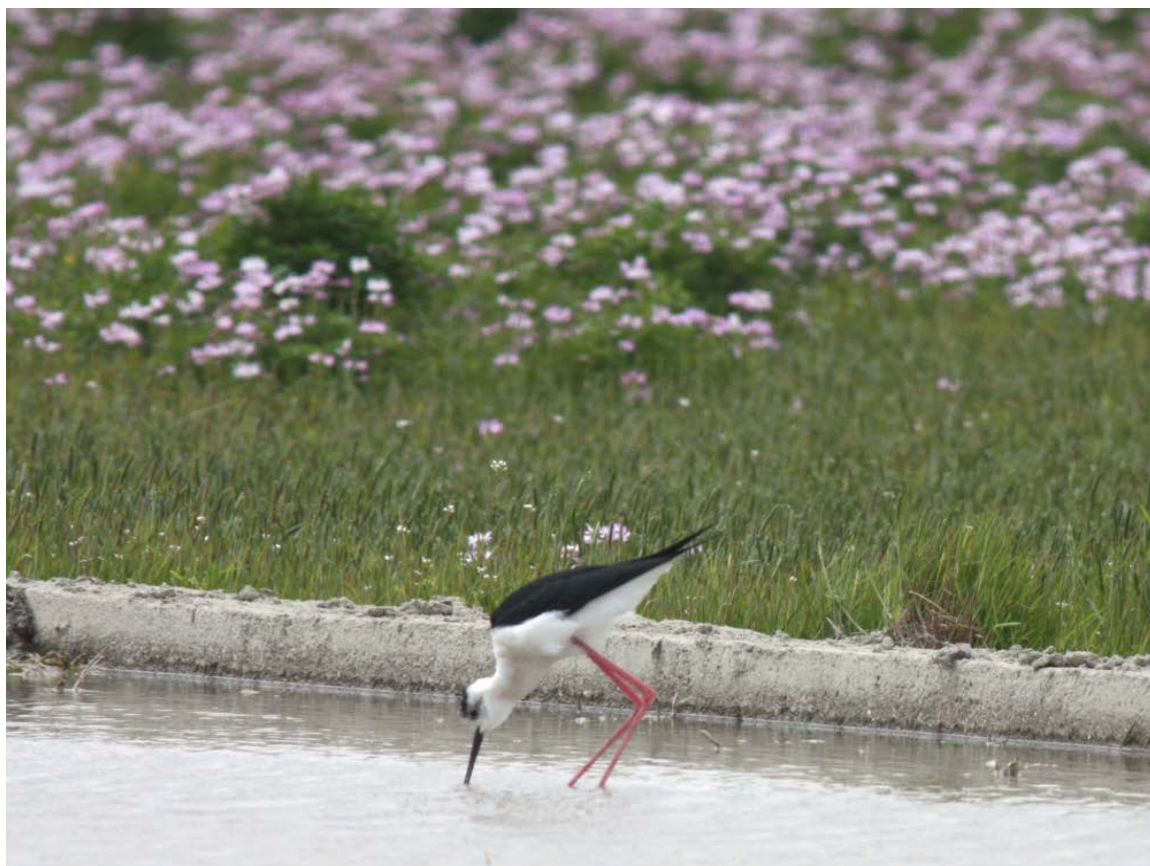
20130409 太田川放水路 干潮の干潟で採餌。翌日まで



カルガモ L61 vs オオソリハシシギ L41



セイタカシギ 20130410 三原市 水張りされた田んぼを歩き回ってミミズなどを採餌



タカブシギ 20130410 三原市 同上

